令和4年4月作成　小山田緑地サービスセンター

小山田緑地の植物　春編

Plants of Oyamada park　Spring　～ 樹木 ～

小山田緑地には、約45ha(東京ドーム9.5個分)ほどの面積に759種※1もの多種多様な植物※2が生育しています。絶滅の危機に瀕している植物や、現在と異なる気候の時代から隔離依存的に残っている植物もあり、貴重な自然が残された小山田緑地は多摩丘陵におけるサンクチュアリでもあります。

※1:2018.2.28時点　※2:維管束植物(シダ、種子植物)以上

ニガイチゴ

4月：梅木窪の尾根道等でみられる。花弁が細く、花弁同士の間に隙間があるのが特徴。

マルバアオダモ

4～5月：園内で数少ない樹木。山中の入口で観察できる。雌雄異株で白い花が咲く。

ウワミズザクラ

4～5月：SC前や本園南口が見やすい。いわゆる「桜」とは異なり、ブラシ状の花を咲かせる。

フジ

4～5月：つり橋や大久保分園で見事な花が見られる。開花数は年により変動が大きい。

ヤマツツジ

4～6月：林内や林縁でみられる在来種のツツジ。真紅から淡いピンクと樹によって花色に変異がある。

ホオノキ

5月：SC前やつり橋から見られる。巨大で香りのよい花は、雄から雌へ性転換する。

ハリエンジュ(ニセアカシア)

5月：みはらし広場でみられる房成に白い花が咲く。香りが強く、虫の羽音も付近でよく聞こえる。

イボタノキ

5～6月：全園でみられる。葉は対生で、開花数は年により変動が大きい。

コアジサイ

5～6月：本園や梅木窪でみられる。枝先に散房花序を出し、白色～淡青色の花を咲かせる。

ミズキ

5～6月：本園運動場、梅木窪等あちこちでみられる。上向きに白い花が無数につき、様々な甲虫が群が

エゴノキ

5～6月：SC前や山中が見やすい。星型の白い花が多数咲き、地面に落ちた様子も星がちりばめられたよう。

ナワシロイチゴ

5～6月：みはらし広場の草地等でみられるキイチゴの仲間。花弁は開かず直立し、一見蕾のようにみえる。

ガマズミ

5月：園内各所で見られる。枝先に白い花を皿状につける。葉の両面に毛がある。秋には赤い実になる。

スイカズラ

5～6月：枝先に甘い芳香のある花を２個ずつつけるツル植物。花ははじめ白色だが次第に黄色に変わる。

ウツギ

5～6月：本園運動場、梅木窪等でみられる。円錐花序を出し下向きに白い花が多数つく。別名ウノハナ。

令和4年4月作成　小山田緑地サービスセンター

小山田緑地の植物　春編

Plants of Oyamada park　Spring　～ 草本 ～

小山田緑地には、約45ha(東京ドーム9.5個分)ほどの面積に759種※1もの多種多様な植物※2が生育しています。絶滅の危機に瀕している植物や、現在と異なる気候の時代から隔離依存的に残っている植物もあり、貴重な自然が残された小山田緑地は多摩丘陵におけるサンクチュアリでもあります。

※1:2018.2.28時点　※2:維管束植物(シダ、種子植物)以上

サギゴケ

4～5月：水田周りなど湿った場所でみられる。花色は白と紫がある。

ムラサキケマン

4～6月：本園や梅木窪などの湿った場所に生えている。花の付き方を仏具の「華鬘」に見立てた。

ヘビイチゴ

4～5月：やや湿り気のある明るい草地や林縁に生える。花が大きく、1本の柄に1つの花がつく。

タツナミソウ

4～5月：本園でみられる。花が片側を向いて咲く姿を波に見立てて名前が付いた。

ウシハコベ

4～10月：道端や草地などでみられるハコベの仲間。ハコベやコハコベより一回り大きい外来種。

カキドオシ

4～5月：梅木窪や大久保でみられる。繁殖力が旺盛で、垣根を通り抜けて伸長する様子が名の由来。

ジュウニヒトエ

4～5月：数少ないが梅木窪と山中でみられる。幾重にも重なった花を十二単にたとえて名付けられた。

キンラン

5月：本園、梅木窪でみられる。豪奢な草姿は雑木林のスター。園内では保全に取り組んでいる。

ギンラン

5月：園内では自生数が少ない。全体的に小ぶりでササや植え込みに紛れて見られることが多い。

ササバギンラン

5月：本園や梅木窪でみられる、ギンランより大型のラン。ササに似た形の長い葉が特徴。

フタリシズカ

5月：梅木窪分園の日陰で自生。白い花が穂のようになり2本つくが、3本以上つく個体もある。

ミヤマナルコユリ

5月：本園や梅木窪に自生。花が垂れ下がり大きく開かない。茎に稜があり、ナルコユリとの違いとなる。

オカタツナミソウ

5～6月：本園や山中でみられる。タツナミソウに似ているが、茎に毛が密生している点が特徴。

ニガナ

5～7月：日当たりのよい場所にみられる。シロバナニガナという舌状花が白い個体もある。

ノアザミ

5～8月：大久保や梅木窪の草地でよくみられる。総苞片から粘液が出てねばつく。春に咲く珍しいアザミ。